

令和4年12月吉日

会員各位

岐阜県理学療法士会
社会局 地域包括ケアシステム推進部

令和4年度 地域包括ケアシステム推進部主催 活動報告

拝啓

平素は岐阜県理学療法士にかかわる様々な活動にご協力賜り、誠にありがとうございます。

12月4日に上記研修会を開催いたしました。感染状況によりオンラインでの開催としましたが、全63名（医療関係：46名、介護・地域関係：17名）の方に参加いただきました。講師はリハビリテーション栄養の第一人者である田村外科病院 理学療法士 高橋浩平先生に務めていただきました。

本研修会は、「栄養とリハビリテーション ～栄養と運動の役割～」というテーマで、サルコペニア・フレイルと栄養の関係、評価方法、サルコペニアに対するリハ栄養の実践例まで幅広く講義を行いました。講義終盤には症例を提示していただき、本講義で学んだ知識を活かしながら、栄養評価やリハビリ負荷量、目標設定を再確認することができ、非常に有意義な研修会となりました。

参加者の中から、栄養リハビリテーションの重要性は理解しているものの、臨床時には栄養評価が不十分であり、栄養状態を把握したうえでの適切なリハビリプログラムの設定ができていないという声もあり、本研修会を通じて明日から「リハ栄養をやってみよう」と強く思えたのではないのでしょうか。また、事前に多くの参加者から質問もいただき参加者の意欲に非常に感銘を受けました。

当部では今後も地域包括ケアシステムの構築・推進において理学療法士が活躍できるよう支援させていただきます。令和5年1月15日には「栄養とリハビリテーション～多職種より理学療法士に期待すること～」と題した研修会を、歯科医師・作業療法士の先生にご講義いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

敬具